

○おめでとう・ありがとうの手紙 受賞作品

二十歳になった娘 美月へ

美月，二十歳おめでとう。

あなたと出会って十八年。施設にいたあなたは孤独な目をしていた。最初は母親になれるか心配だった。血のつながりも，心のつながりもないあなたと，どうやって家族になれるか必死だった。

だけど，いつだってあなたは私を「ママ」と呼んだ。転んだとき，虐められたとき，嬉しいことがあったとき。そんな日々を過ごす中で私は「里親」ではなく「親」で，あなたは「里子」ではなく「子」なのだと思えるようになった。

そんなあなたももう二十歳。そう遠くないうちに，この家を離れ，新たに自分の人生を切り拓くことでしょう。寂しさ，愛しさ，すべてあります。だけど，これだけは覚えておいて。この先どんなことがあっても「おかえり」と迎えてくれる場所があるってこと。だって私たちは家族だから。いつでも戻っておいで。そして笑顔を見せて。あなたの笑顔は私たちの宝であり，生きがいだから。